

平成30年度 予算を可決

平成30年度一般会計予算ほか3特別会計予算は、「予算に関する特別委員会」（議長を除く全議員で構成・委員長＝茂木弘、副委員長＝吉田詠子）を設置し、2月26日から3月12日まで審査を行い、いずれも可決されました。



▲委員長挨拶の様子

平成30年度 予算の概要

年度区分 会計区分		平成30年度 予算額	平成29年度 予算額	増減	増減率
一般会計		995億円	951億2,000万円	43億8,000万円	4.6%
特別会計	国民健康保険 事業	257億8,500万円	301億3,400万円	△43億4,900万円	△14.4%
	後期高齢者 医療	49億1,100万円	48億200万円	1億900万円	2.3%
	介護保険 事業	167億2,900万円	170億9,800万円	△3億6,900万円	△2.2%
計		1,469億2,500万円	1,471億5,400万円	△2億2,900万円	△0.2%

平成30年 区長の施政方針説明

（一部抜粋・要旨）

西川区長から、2月15日の2月会議初日の本会議において、施政方針説明が行われました。

荒川区を、将来に渡って安らぎと笑い声にあふれた日々の暮らしの上に、区民の皆さまお一人お一人が夢と希望を持って未来を築いていくことのできるまちとするため、今なすべきことは速やかに具体化し、また、未来に向かってしっかりと布石を打っていく必要があります。

そういった認識のもと、平成30年度予算は、区民の皆さま全世代に渡って生活の基礎となる健

康・福祉や安全・安心分野の充実はもちろんのこと、地域で隣人や仲間と暮らしていくためのコミュニティの強化、さらには充実した人生を送るために欠かせない芸術・文化・スポーツに親しむための環境整備等を具体化するため、予算化いたしました。

私はこれからも、区民の皆さまの幸福のために、いかなる問題も解決し、乗り越えていくという、強い覚悟を持って職員の先頭に立ち、職員とともに、山積する課題や、そして新たな課題にも果敢にチャレンジし、解決に向けさらに前進していく決意でございますので、これまで以上の御支援と御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

主な総括質疑

自民党 服部 敏夫 委員

- ・ 学校体育館空調設備の早期全校設置に向けた今後の検証について
- ・ 待機児童解消のための保育園定員拡大と保育の質の確保・向上について
- ・ 民泊だけにとどまらない簡易宿所を含めた民泊事業への総合的な取り組みについて
- ・ 地域活性化に繋がる京成電鉄高架下の今後の活用について

自民党 斎藤 泰紀 委員

- ・ 女子医大東医療センター移転後の医療と健康の拠点整備について
- ・ バラを活かしたまちづくりと公園のあり方について
- ・ 「読書の街、絵本の街」宣言とその具体の条例化の進捗について

公明党 松田 智子 委員

- ・ 近年開発されている消火機材等の効力を検証した更なる地域防災力の強化について
- ・ ローリング・ストック法等を含めた家庭用備蓄の具体的な周知と広報について
- ・ 居宅介護支援事業所における主任ケアマネジャー資格の取得・更新の支援について

共産党 横山 幸次 委員

- ・ 生活保護基準の大幅見直しにおける区の見解について
- ・ 荒川区の所得下位10%層における生活実態の区の認識について
- ・ 生活保護基準の見直しにおけるひとり親世帯への影響について

民進党 竹内 明浩 委員

- ・ 荒川遊園の子どもプールがあるB地区へのスケートパーク整備について

元気クラブ 斉藤 裕子 委員

- ・ (仮称)日暮里地域活性化施設と(仮称)東尾久三丁目ふれあい館の進捗状況について

日本創新党 小坂 英二 委員

- ・ ゼロ歳児を家庭で養育したい世帯に10万円の現金給付を！保育園建設ラッシュに歯止めを！

改革の会 藤澤 志光 委員

- ・ クラッシュ症候群の区民への周知とトリアージ訓練の実施について

市民の会 瀬野 喜代 委員

- ・ 学校現場での男が先に記載されている名簿に対する教育委員会の見解について



▲区長答弁の様子



▲委員会室の様子